

No.	基本目標	【業務事業】 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	保育内容の 充実	[幼稚園教育の質の向上] P D C Aサイクルの確立 全体研修・個人研修の推進 幼小連携の推進	月案・週案を提出し評価をすることでP D C Aサイクルを確立した。個人研修は、各自の課題を抽出し課題に合った研修を探し夏休みを中心に学んだ。全体研修では、それぞれが学んだことを共有した。又、三園合同研修では異業種の話聞き見分を広めた。幼小連携では、ひびきの小学校との交流を行った。接続カリキュラムまで行きつかず、来年度の課題とした。	小学校交流は年長組にとってはとても良い経験だと思う。ひとつの小学校ではなく他の小学校にも行くと良いと思う。
		[園の特色を生かした教育課程の編成] 学年会議の開催 次年度カリキュラムの決定	毎週1回学年会議を開き、教育課程を元に月案・週案の話し合いをし保育計画を立てた。終わった活動に関しては、お互い評価をした。学期毎に教育課程を見直した。次年度カリキュラムは年度末に話し合いを持ち計画する予定である。	カリキュラムに沿った保育で成長した姿が保護者として見られるので、小学校の先生にも年長組としての成長を見て頂いてはどうか。
3	大学・地域 との連携	[学園設置大学との連携の充実] 体操教室・リトミックの実施 学生との連携の実施 大学教員とのコラボ研究の実施	満3歳児クラス・年少組は毎週木曜日にリトミック教室を行った。年中・年長組は毎週火曜日・木曜日に体操教室を行った。保護者への見学会を計画し普段の姿を見て理解して頂いた。学生との連携では、大きな行事にボランティアとして入ってもらったり、普段の保育や預かり保育にもボランティアで入ってもらった。大学教員とのコラボ研究については模索中である。	幼児期の特性を踏まえて正課の中で行っているのは良いと思う。子どもも楽しんでいる姿が見られる。年長組になるにつれ、自分の目標が明確になってきた姿も見られる。
		[地域との交流の推進] 田植え・稲刈りの実施 餅つきの実施 八幡図書館折尾分館との交流 地域内・姉妹園との交流	田植え・稲刈り・餅つきについては地域との連携を図って行った。又、折尾駅の七夕飾りを作り、駅の行事にも参加した。八幡図書館折尾分館には毎月の未就園児教室に向向してもらい未就園児親子との交流をした。姉妹園交流では、年長組との交流をそれぞれした。次年度からは他の学年での交流を内容を考えながらしたいと考える。	地域の方との交流は継続する難しさがあるが、高齢者の方も思いのほか協力してくださるので、声をかける相手を変えると良いのではないかと。図書館は、仮設にはなるが足を運んで本に親しんで欲しい。又連携している小規模保育所も毎週図書館に来るので、コラボ的な交流もすると良いのではないかと。
5	幼稚園運営 の強化	[園児募集・広報の強化] H Pでの積極的な情報発信 未就園児教室の充実 預かり保育・子育て相談の実施	H Pは毎月更新し、園の様子や未就園児教室の様子を積極的に発信した。未就園児教室は昨年度の反省を活かし内容を充実した。次年度からはもう少し保護者同士の交流を深める内容を入れる様にしたい。子育て相談については、在園児の保護者についてはその都度要望があった時やこちらからの提案で行って来た。預かり保育は家庭的な雰囲気を出しながら行った。	昨年に引き続き、H Pは毎月の更新がしており、もう少し回数を増やしリアルタイムで見られるようにすると良いと思う。未就園児教室については、入園に繋がっているので毎年計画を練り直し継続すると良いと思う。
6		[安全対策の徹底] 運転員の研修の実施 園児の交通安全教室の実施 戸外活動・災害時の安全対策 遊具の点検・建物の点検 職員に対する危機管理の研修	園児の火災や地震を想定した避難訓練や、防犯訓練・交通安全教室等を計画的に行った。職員に対しては、外部の危機管理の研修に参加し全員で共有し危機管理の意識を高めた。戸外活動では、活動毎に人数確認をするなど徹底して行った。建物の点検は、管財を通して各業者に点検を頼んだ。遊具は新しいものもあるためマニュアルを作り直して毎月の点検を徹底するようにしたい。	各安全対策の徹底をし、特にコロナウイルス感染症については、学園としての対応も考え園としての対応をして欲しい。